

平成22年7月4日(日)フクトピア 参加者48名

9:30 開会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(教育長、総合政策部長、教育総務部長)副市長欠席
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：老朽化の話、財政の状況大変厳しいのは分かるが、中期、長期の説明がないが、どういう目標を持ってやっているのか。

市長：基本として総合振興計画、その中で前期基本計画を定め、さらに3カ年の実施計画があり、毎年見直しをしています。

高齢化率20.8%、市は超高齢社会の一手手前で、70歳以上の市民の方が毎年700人ずつ増えている状況です。経常経費いわゆる固定経費が合併直後、99.7%で県内ワースト1となり、20年度決算で95.4%、ワースト3まで回復しましたが、今後さらに改善していきたいと思えます。目標は総合振興計画でお示ししていますが、子育て世代が住みついてくれる活気のあるまちにしたいと思えます。そうすると当然かかる経費はありますが、真の地方分権を目指し足腰の強いまちを目指したい。これが、高齢者世代を支えることにもなります。経常収支比率は95%を割ることを目標にしています。

参加者：老朽化する公共施設。アンケート内にある「複数あるのはもったいない」という言葉。どこからくるのか。どのくらいの利用率があるのか分かっているの話か。どの施設も場所を取るのが大変。無料で借りられる施設も少ない。1つにしたら遠方の地区からは利用しづらい。介護にもこれからお金がかかる。ならば、高齢者の生きがいづくりの場所としての公民館は大切な施設。元気に仕事をしてきてボランティアで支えている。趣味やボランティアをする人たちの活動拠点を無くすより、どうやったら財政を圧迫しないで運営できるか考えてほしい。納得できるなら、受益者負担をしても良い。

市長：決して減らすためのアンケートではありません。維持費を確保できる状況ではなくなったということ。今後は受益者負担もやむを得ないという意見も多いです。有意義に活用されているものもあることは理解しています。ただ、その施設にも不均衡な部分が残っており、例えば、ホールで上福岡

は有料、大井中央公民館は無料です。どの施設も無駄なものはありませんが運営方法や管理方法を統一したり、考えていかなければなりません。市民の皆さんやNPO、ボランティアに協力いただかなければなりません。

参加者：公民館の施設の利用について、公民館は月曜休館。月曜は貸館として、利用できないか。以前より利用率が少し落ちていると思うが、今の状況は。

市 長：社会教育施設は貸し館業務はできないという定義は変えられませんが、運用としてできないか、検討させていただきます。

参加者：公民館は1回も使ったことがないが公民館はすべて無料なのか。

市 長：登録団体は無料です。

参加者：公共施設は有料化にすれば良いということなのか。

市 長：公民館を有料化にしようとは考えていません。社会教育活動として取り組んでいるものは無料ですが、別の活動をしているのは問題があります。

参加者：使えば、水道電気代とかかかる。ムダが多ければ利用していない市民にその辺のしわ寄せが行くので、利用している人たちとよく話し合ってもらって多少の有料化に向けて進めていっても良いのでは。

市 長：すべての施設のあり方について、税収が限られている中、優先順位や配分のなかで、皆さんの意見を参考にしてみたい。

参加者：財政が厳しいのは良く分かった。厳しいはずなのに議員定数削減について否決されたのはなぜか。市はどのように考えるのか。署名があるのに、市民の意志に反している。人口比でどのくらいがふさわしいのか聞きたい。

市 長：地方は議会議員も市長も選挙で選ばれる二元代表制なので、議会が自らが考え判断すべきことだと思います。市長として答えるべきではないので、何人が適正であるということは控えさせていただきます。署名については、意思是尊重されるべきとは考えますが今後、議会も何らかの判断をしていくと思います。

参加者：東台小学校のそばを通ったが素晴らしい学校だった。あの学校建設に際して、他に相当数の空き教室があったと思うが、学区編成、スクールバス等

その辺をうまく考えてやれば要らなかったのではないか。

教育長：東原小が児童の増加で対応できなくなってしまったというのが、建設の理由です。スクールバス等の話ですが、学校は地域の顔という意味で、遠くの学校に通わせたりするのは市民感情として許されないと思います。

参加者：一般家庭ではお金がなければ、立派な家をつくらない。莫大な借金をしてまで地域の顔なんか要るのか。収入に見合うことをすれば良い。スクールバス否定論はおかしい。

参加者：直ぐ後ろには大井小があるではないか。そのすぐそばは東原小の通学区だ。なぜそばの学校に移せないのか。

市長：学校建設、学区編成の件については、行政の継続性ということでは、すべて私の責任であるという認識です。今までやってきたことは、私が責任を背負っているという考えとして、それぞれ旧市町の施策は尊重していくという基本合意のなかでのことです。東台小について遠い将来は、用途変更はあるかもしれませんが、補助金を受けている施設なので、すぐに用途変更はできません。将来において、市内で児童・生徒数に偏りが出たときには、スクールバスなどを活用した学区変更も検討したいと思います。

参加者：子どもは素晴らしい環境で教育するのが良いが、他ではトイレの臭い中で授業を行っている学校もある。平等にやってほしい。クーラーなども設置できないか。

教育長：それぞれの学校の施設、設備上の課題については、耐震補強工事が終わったら、バランスを考慮して改修したいと考えます。

市長：確かに東台小と比較するとバランスが悪く、東台小の不要論は大井の地域からも出ています。他の学校とのバランスの悪さは本当に現実です。各学校の現場を回ってみて、旧上福岡の低学年の教室には扇風機がついているが、大井地域にはついていなかったのが今年、設置するようにしました。学校施設を少しでも何とかしてあげたいという思いでやっています。

参加者：バランスを考えるのは、そうだが、建設時に工夫がほしい。学校に校庭があって校舎があって相当の敷地を必要とする。公共施設の配置として複合施設の中で、学校も含めて考える必要があると思う。

市長：学校も用地の関係で、どうしても市の端になってしまうが、方法論を変えれば立地条件も変わってくると思う。規制概念を変えて検討したいと思います。

参加者：心配り、心配りでなんとか交通事故を減らして欲しい。通学路について見通しの悪い交差点などあるが、歩道の表示板や木の刈り込みなどできないか。フクトピア付近でも刈り込みが高いところがあり、低くすれば安全ではないか。金のかからない方法で対処してほしい。

市長：安心安全に力を注ぎ、市民の命を守ることが理念なので、可能な限りの取り組みをしていきます。フクトピアそばの道路については確認します。信号機の設置が難しい状況のなか、そのような方法も考えます。

【個別回答】

市内の道路の除草、側溝清掃、排水柵の清掃等の作業につきましては、道路課施設管理係の営繕担当で作業させていただいております。ご提案の植え込みの高さにつきましては、今後作業のおり、参考にさせていただきたいと考えております。

作業の実施につきましては、現在、雨水の流れをよくするため側溝清掃を優先して行っていることと天気の関係もありますが、遅くとも今月末又は来月初めには作業を行う予定です。

参加者：現役の子育て世代から見ると、保育園から始まって小学校中学校など、親の意見をきいて、子育ての政策やまちづくりをやってもらいたい。保育園でも新しい保育園や、古い保育園もある。耐震上問題がある保育園はどうなっているのか。

部長：耐震構造上、優先的に学校からやっていますが、順次計画を立てて今後進めてまいります。

市長：子育ては優先したいので、今後は集会所などに出向き、子育て世代の方の話も聞き、政策に活かしてまいります。待機児童対策として来年1か所、その次に更に1か所開設する民間保育所の建設を支援し、問題解消に努めたいと思います。

参加者：タウンミーティングの結果について、今日の分を明日とかにホームページに掲載してもらえれば、その後のタウンミーティングについてそれを見るときもっと話が深まっていくのではないかと。検討していただきたい。15回

が終わったときには、市民の意見も統合されていくのでは。

市長：市報やホームページに掲載してまいります。市民との情報共有に力を入れており、先日も保育料の過誤納の関係もすぐに公開しました。

参加者：合併してから、上福岡駅西口の道路にたくさん鎖がついている。杖をついている人などが跨ぐと危ないので鎖を取れないか。郵便局のところも鎖がついた。駅にも少し遠回りなので、何とかならないか。薬局前はカーブで危ない。駐車場で見通しが悪い。

市長：鎖の件は、議会の中でも出ています。今は、安全確保の観点から、横断歩道を渡っていただくために鎖があります。遠回りでも横断歩道を使っただきたい。市民の安全が第一です。危険箇所の件は警察などへ伝えます。

参加者：元福岡の水害対策で、1時間あたり50ミリ降ると年に1、2回浸水の災害が起こり、ポンプを設置した箇所もあるが、他のところもポンプ設置するなど、早く対処してほしい。議会でのやり取りを見ていてもスピード感がない。防災の観点、市民の命を守るという観点から早急に取り組んでもらいたい。

市長：長年の懸案事項であり、財政厳しい中ですが、安心安全の確保面から取り組んでまいります。

参加者：先ほどからのお話を聞いていると全部お金がかかる話ばかり。ごみ収集について、事業系は有料で、各家庭からのごみは無料。家庭ごみも有料にすべきでは。

市長：事業者は量によって支払う料金が違います。今は、生活に密着した問題として税金でまかっていますが、受益者負担の一つとして参考にさせていただきます。

参加者：市営住宅に申し込んでいるが中々当たらない。もう少し増やせないか。

市長：市営住宅を増やすのは難しいですが、他の面でサポートできるものはあると思うので相談にお越しくください。

参加者：住居表示の件で、隣りの家と名字も名前も同じで苦労している。何とかならないか。

市 長：住居表示について何か方法があるのか後日お答えします。

【個別回答】

様の住居表示（住所の付定）は昭和42年4月1日に実施したものです。

様とお隣の双方の玄関（出入口）が住所付定の同じ基礎番号上に存在したため、南台 丁目 番号が2軒存在することになりました。実施当初からずっとご不便をお感じのこととご推察申し上げます。

ご住所の変更についてですが、今後、様の玄関（出入口）の場所が北西側の道路に面することになった場合には、ご本人の申し出（住居番号変更申請）により住居番号の変更は可能となります。この件に関しましては、直接、市民課市民係にお問い合わせください。

ただし住所を変更することにより、ご自分でお手続きをしていただくものが多数発生いたします。たとえば、土地・建物等不動産所有者の住所変更登記（事業所などの商業登記・法人登記）をはじめ、自動車免許証、自動車等の登録証、年金関係、各種免許、許可、認可、勤務先、学校、金融機関、生命保険、クレジットカード、携帯電話、加入電話、電気、ガス、水道、郵便などがあげられます。この中には費用がかかるものもありすべてご本人負担となります。

なお、郵便物の誤配付につきましては、郵便局へ事情をご説明いただき、確かな配送をご依頼いただきますようお願いいたします。

参加者：サンロードは空き店舗が多く、活性化されない。駅前には玄関口がふさがれて人が降りてこない。駅前整備はいつまでにやるのか。

市 長：駅前整備は一刻も早く実現すべく、就任直後に着手しています。

参加者：用地が解決できないのなら、歩道橋でもかけたらどうか。いつまでに、解決できるのか。期限を切ってやってほしい。

市 長：駅前については、旧上福岡の頃から長年の懸案でした。今は検討しているのではなく、実際に動いています。相手があることなので、いつということとは言えません。商店街は、高齢のうえ後継者も無く営業できなくなってしまった人が多いため、テナント化しています。シャッター化しないように私自身も努力しています。

参加者：モラルの問題。ごみの分別について。ネットをしないのでカラスが騒ぐ。

指導徹底してほしい。

市 長：そのようにさせていただきます。

参加者：福祉の乱用化が進んでいるのではないか。家の人でもできることや、生活保護の悪用など見極めて、本当に必要な方に回すべき。

市 長：福祉の担当職員は、毎日夜9時、10時まで残って頑張り鋭意努力しています。何とか乱用防止に努めてまいります。

11：45 閉 会